

元気な

事業所ファイル

株式会社 田中商店 水俣営業所

所在地 浜松町5番8号
 設立 平成13年10月
 従業員数 20名
 事業内容 ガラスびんリユース・リサイクル、古紙類リサイクル事業、運送業



当社は、平成13年10月から水俣エコタウンでガラスびん（リユース・リサイクル）事業をスタートしました。市では、現在も20種類以上の高度な分別収集を実施していますが、その資源をリユース・リサイクルに特化した持続可能な仕組みづくりを提案しています。ガラスびん事業の中心は、酒飲料容器（一升・五合）や醤油他食品びん6種類のリユース事業で、全国で約400万本を販売。また、平成15・16年度の国の補助事業で開発した900ml茶色のRびんは南九州を中心に年間80万本がリユースびんとして活用され、他にも主にワインびんを破碎したものが水俣駅前商店街舗道工事「リ・グラスロード」などの公共工事に採用されています。

平成24年には、リサイクル施設を水俣産業団地内に新設。焼却処分が中心だった飲料用紙容器（



▲代表取締役 田中 利和さん

（写真上）店舗などから回収したびんを洗びん・検査。

（写真下）古紙類など、資源ごみの持込量に応じてスタンプカードにより、さまざまな再生品と交換できます。



牛乳・酒）を水俣版のトイレレットペーパーなどに商品化し、地域循環の仕組みづくりに貢献しています。プラスチックケースのレンタル事業など、新規の事業展開も行っており、水俣市のエコタウン事業の新たな柱として確立できればと考えています。

現地雇用9人からスタートしましたが、現在17人になりエコタウン企業と連携して、就労支援事業所などから毎日十数人が就労されています。水俣発の新規事業を常に意識しながら、地域のさまざまな事業者と共に、発展していきたいですね。

株式会社田中商店 水俣営業所は、みなさんの暮らしを支える「リサイクルのプロ」です。塩浜町にある施設では、役目を終えた古紙やアルミ、プラスチックなどを集めて、もう一度使えるようにする「資源の中間処理」に取り組んでいます。

メインの仕事は「びんリユース事業」。これは、使い終わったびんをきれいに洗浄・検品し、再び食品メーカーで使えるようにしています。物を大切にする会社です。また運送業にもチャレンジし地域になくてはならない企業を目指します。

